

良知あつゆき (県議会2月定例会一般質問) 「焼津漁港について」



良知あつゆきは、平成27年2月定例会において、以下の内容について一般質問を行いました。一部について答弁の内容をお知らせいたします。

「焼津漁港について①」

緑地広場の整備

●質問内容

焼津漁港の水揚げ金額は、平成二十六年の全国主要漁港の水揚げ統計によると全国第一位、水揚げ高も全国第二位であり、焼津漁港はまさに我が国を代表する漁港であります。

その中で焼津漁港の新港地区は、水産物の全国的な流通拠点の役割を果たすべく、漁港機能の効率化を目指して整備が進められており、水産関連施設が順次、建設されているところです。

その広大な漁港用地は、焼津市の中心市街地と隣接しJR焼津駅にも近いことから、産業振興上の重要性とともに、沿岸部の地域振興上も大きな可能性を有しています。

こうした観点でみると、新港地区の鰯ガ島エリアには、親水広場のほか、駿河湾深層水を使ったタラソテラピー施設、水産物販売・飲食施設等が集積し、新たな賑わいの拠点となりつつあります。

このエリアは、海からの恵みの特徴を生かした交流や美容・健康・スポーツ、食の機能が既に集積しており、更なる連携を進めることで、これまでにない沿岸部の楽しみ方の価値や需要を創造していくことができると考えます。

そこで、現在、このエリアにおいて県が進めている緑地広場の整備方針と利活用の考え方について伺います。



焼津漁港の新鰯ヶ島地区は、平成23年に策定した焼津漁港マスタープランにおいて、市民や観光客に開かれた集客型の機能強化を促進し、焼津漁港における賑わいを創出するアメニティーゾーンとして位置付けられております。

その中で、現在、整備を進めている緑地広場は、駿河湾や富士山を一望でき、磯遊びのできる「ふいしゅーな」や海の幸が楽しめる「うみえーる焼津」、駿河湾深層水プールを有する「アクアスやいづ」などの集客施設が隣接しており、これらの施設と一体となった憩いの場として、また新たな交流の場としての利用が求められております。

このため、県では、この緑地広場の具体的な施設整備に当たりましては、住民参加のワークショップにより提案を頂き、漁業従事者や市民、県内外からの観光客が親しめる遊歩道やビーチバレーンなどに利用できる多目的広場の整備を、来年度末の完成を目途に進めております。

県といたしましては、地元焼津市と共に、周辺施設と連携した利活用を図り、海からの恵みを生かし、人々が集い賑わうウォーターフロントの創造を目指してまいります。

●答弁の内容

「交通基盤部長」



ふるさとにっこり通信

第13号 平成27年3月号

***** | 静岡県議会議員 県政を身近にもっと良く知ろう

良知あつゆき県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり



「焼津漁港について②」

津波防災対策

●質問内容

東日本大震災では、漁港施設等の被害により市場機能が停止し、水産流通に多大な影響を及ぼしました。また、背後の市街地も、津波により大きな被害を受けました。

これをうけ、県では、平成26年2月に、東日本大震災の被害を教訓とした「多重防護」という新しい津波防災・減災の考え方を検討すべく、学識経験者等からなる「焼津漁港津波対策検討委員会」を設置しました。

その後、3回の委員会を経て検討を進めており、年度末には、ソフトとハードを含めた総合的な津波対策の方向性を打ち出し、津波防災計画のとりまとめを行うと聞いております。

東日本大震災から4年が経過しようとしている現在、地元焼津市では、津波防災対策について「先が見えない」「早く対策を実施してもらいたい」といった声が多く聞かれます。

こうしたことから、速やかに具体的な対策の方向性を市民に示すとともに、対策に着手することが重要であると考えますが、現在の委員会における検討状況と今後の予定、そしてその検討した内容を市民にどのように示していくのか、の3点について伺います。



●答弁の内容 「交通基盤部長」

焼津漁港では、東日本大震災を教訓に、主要産業である水産業の経済活動の継続性と地元住民の皆様の安全確保を目的とした津波防災対策を取りまとめるため、昨年2月に「焼津漁港津波対策検討委員会」を設置し、審議を行ってまいりました。

今月12日に開催した第4回検討委員会では、防波堤の粘り強い構造への改良に加え、胸壁・陸間整備案と内港入口部の水門整備案について整理・検討いたしました。そこで国と県で構成する事務局としては、「地震・津波対策アクションプログラム2013」の事業計画期間内での実現性が高いことや、津波対策工法として技術が確立していることから、胸壁・陸間整備案が優位と判断し、委員会に示したところであります。



今後は、これまでの委員会での審議内容を地元へ伝え、意見を聴取した上で、年度内に最終委員会を開催し、津波防災対策の方針案を取りまとめてまいります。

県といたしましては、委員会の方針案につきまして、地元説明会等を通じて住民の皆様に丁寧に、ご理解を得られるよう努めてまいります。

「良知あつゆき質問内容」

- 市町や民間団体等と連携した地方創生の取り組みについて
- 地方創生に向けた県立大学の役割について
- フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進について
- 焼津漁港について
 - ・緑地広場の整備
 - ・津波防災対策
- 地区防災計画の策定促進について
- 補助教材の作成と選定方法の見直しについて
- 「まち・ひと・しごと創生」と安全・安心な学校給食の提供について

